

# **Patch for VMware ESX**



## 特記事項

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[特記事項 \(##### 17\)](#)に記載されている情報をお読みください。

# 本書に関する注意事項

本書は、BigFix バージョン 9.5 と、新しい版で明記されていない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

# 目次

特記事項.....	2
本書に関する注意事項.....	3
<b>第 1 章. 概説.....</b>	<b>1</b>
サポートされるプラットフォーム.....	1
サイトのサブスクリプション.....	2
<b>第 2 章. ダウンロード・プラグイン.....</b>	<b>3</b>
「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードの概要.....	3
ESX ダウンロード・プラグインの登録.....	6
ESX ダウンロード・プラグインの登録解除.....	7
ESX ダウンロード・プラグインの構成.....	8
ESX ダウンロード・プラグインのアップグレード.....	9
<b>第 3 章. Fixlet を使用したパッチ.....</b>	<b>10</b>
ESX 4 パッチ・ウィザード.....	11
ESX パッチ情報の収集.....	12
置き換え.....	14
<b>付録 A. サポート.....</b>	<b>15</b>
<b>付録 B. よくある質問.....</b>	<b>16</b>
特記事項.....	17

# 第 1 章. 概説

BigFix Patch for VMware ESX には、VMware がリリースする新規パッチ・バンドル更新用の監査 Fixlet が用意されています。

Patch for VMware ESX を使用すると、マシンにエージェントをインストールすることなく、VMware ESX 用デバイスのパッチ・ステータスを照会することができます。VMware API と通信する管理エクステンダーを使用します。

Patch for VMware は、ESX 用パッチ・サイトを介して提供されます。

## サポートされるプラットフォーム

BigFix Patch for ESX は、さまざまなプラットフォームでの VMware 更新をサポートしています。

サポートされているプラットフォームは以下のとおりです。

- VMware ESX Server 3.0.0
- VMware ESX Server 3.0.1
- VMware ESX Server 3.0.2
- VMware ESX Server 3.5
- VMware ESX Server 4.0
- VMware ESX Server 4.1

Patch for ESX には、以下の更新があります。

- きわめて重要
- 一般
- セキュリティー

ESX パッチをインストールするには、ESX 用パッチ・サイトにサブスクライブします。

VMware ESX は、2016 年 5 月 21 日に ESX 4.x の技術ガイダンス・サポートを終了しました。ESX ユーザーは、ESXi に移行することが推奨されています。

ESX の一般サポートの終了、および VMware ESX の技術的なガイダンスの詳細については、[https://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en\\_US&cmd=displayKC&externalId=2039567 \(#####\)](https://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en_US&cmd=displayKC&externalId=2039567) を参照してください。

ESX から ESXi への移行について詳しくは、以下を参照してください。[http://www.vmware.com/files/pdf/services/Files2011/vmware-ESXi-assess-migrate-service-brief.pdf \(#####\)](http://www.vmware.com/files/pdf/services/Files2011/vmware-ESXi-assess-migrate-service-brief.pdf)

## サイトのサブスクリプション

サイトとは、ユーザー、HCL、またはベンダーにより内部的に作成される Fixlet メッセージの集合です。

実装環境内のシステムにパッチを適用するために、サイトにサブスクライブして Fixlet メッセージにアクセスします。

サイトのサブスクリプションを追加するには、ベンダーまたは HCL からマストヘッド・ファイル入手するか、またはライセンス・ダッシュボードを使用します。Fixlet サイトへのサブスクライブ方法について詳しくは、「*BigFix#####*」を参照してください。

サイトについて詳しくは、「*BigFix#####*」を参照してください。

## 第2章. ダウンロード・プラグイン

ダウンロード・プラグインは、パッチのベンダーの Web サイトにログオンし、指定されたパッチをダウンロードする実行可能プログラムです。キャッシングのプロセスを簡単にするために、Fixlet には、ダウンロード・プラグインを起動するプロトコルが組み込まれています。

Fixlet がプロトコルを認識するようにするには、関連するダウンロード・プラグインを登録する必要があります。ダウンロード・プラグインを登録するには、「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードを使用する必要があります。プラグインを登録したら、Fixlet を実行して、BigFix コンソール (BigFix console) からパッチをダウンロード、キャッシング、およびデプロイできます。

プラグインが既に登録されている場合、「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードを使用して、更新を実行できます。ダウンロード・プラグインを登録解除したり構成したりするのにも、ダッシュボードを使用する必要があります。

### Notes:

- ダウンロード・プラグインをリレーにインストールする場合は、サーバーにもインストールすることをお勧めします。
- ダウンロード・プラグインでは、基本認証のみがサポートされます。
- null エラーを回避するために、BigFix サーバーと BigFix クライアントは必ず同じバージョンにしてください。

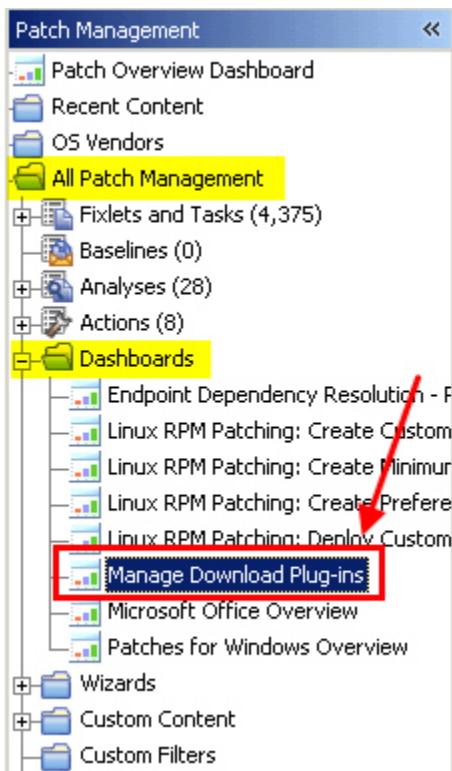
### 「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードの概要

「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードを使用して、デプロイメント内のダウンロード・プラグインの監視と管理を行います。

「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードを使用すると、さまざまなパッチ・ベンダーのダウンロード・プラグインの登録、登録解除、構成、およびアップグレードを実行できます。

「パッチ・サポート (Patching Support)」サイトにサブスクライブして、ダッシュボードにアクセスする必要があります。「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードを表示するには、「パッチ管理ドメイン」>「すべてのパッチの管理」>「ダッシュボード」>「ダウンロード・プラグインの管理」に進みます。

図 1. 「パッチ管理」ナビゲーション・ツリー



ダッシュボードには、デプロイメント内のすべてのサーバーとリレー (Windows のみ) が表示されます。サーバーまたはリレーを選択すると、そのコンピューターのすべてのプラグインが表示されます。ダッシュボードには、統合された 1 つのビューに、各プラグインのバージョンと状況も表示されます。

図 2. 「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボード

Name	Operating System	Type	Encryption Enabled
bigfix.test	Linux Red Hat Enterprise Server 7.2 (3.10.0-)	Server	Yes

Plug-in Name	Plug-in Version	Status
Red Hat Plug-in	N/A	Not Installed
Solaris Plug-in	N/A	Not Installed
SUSE Plug-in	N/A	Not Installed
ESX Plug-in	N/A	Not Installed
WAS Plug-in	N/A	Not Installed
FixCentral Plug-in	N/A	Not Installed
SCC Plug-in	N/A	Not Installed
RHSM Plug-in	1.0.0.2	New Version Available
CentOS Plug-in R2	N/A	Not Installed

プラグインは、以下のいずれかの状態にあります。

- インストールされていません
- 新規バージョンが使用可能
- 最新
- サポートされていない

このダッシュボードには、ライブ・キーワード検索機能が用意されています。サーバー、リレー、およびプラグインの命名規則に基づいて検索できます。

**注:** ダウンロード・プラグインを BigFix リレーにインストールする場合、ダウンロードの問題を回避するためにダウンロード・プラグインを BigFix サーバーにもインストールする必要があります。

## ESX ダウンロード・プラグインの登録

「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードを使用して、ESX のダウンロード・プラグインを登録します。

以下のタスクを実行する必要があります。

- ・「パッチ・サポート (Patching Support)」サイトにサブスクライブして、「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードにアクセスします。
- ・「BES サポート」サイトから使用できる「クライアントの暗号化分析 (Encryption Analysis for Clients)」分析をアクティブにします。
- ・「パッチ・サポート (Patching Support)」サイトから使用できる「ダウンロード・プラグインのバージョン (Download Plug-in Versions)」分析をアクティブにします。
- ・エンドポイントを暗号化する場合、「BES サポート」サイトから使用できる「クライアントの暗号化の有効化 (Enable Encryption for Clients)」Fixlet をデプロイします。

ダウンロード・プラグインを、そのプラグインがインストールされていないコンピューターに登録すると、プラグインは自動的にインストールされ、構成ファイルが作成されます。

ダウンロード・プラグインがコンピューターにすでにインストールされている場合、構成ファイルは上書きされます。

1. パッチ管理ドメインから、「すべてのパッチの管理」>「ダッシュボード」>「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードをクリックします。
2. 「サーバーとリレー」テーブルから、ダウンロード・プラグインを登録するサーバーまたはリレーを選択します。
3. 「プラグイン」テーブルから、「ESX プラグイン」を選択します。
4. 「登録」をクリックします。  
「ESX プラグインの登録 (Register ESX Plug-in)」ウィザードが表示されます。
5. プロキシー・サーバーを経由してダウンロードする必要がある場合は、プロキシー・パラメーターを入力してください。

### プロキシー URL

プロキシー・サーバーの URL。プロトコルとホスト名が含まれた整形式の URL である必要があります。この URL は通常、プロキシー・サーバーの IP アドレスまたは DNS 名とそのポートを、コロンで区切ったものです。例: `http://192.168.100.10:8080`.

#### 「プロキシー・ユーザー名」

プロキシー・サーバーで認証が必要な場合のプロキシー・ユーザー名。通常、これはフォーム `domain\username` 内にあります。

#### 「プロキシー・パスワード」

プロキシー・サーバーで認証が必要な場合のプロキシー・パスワード。

#### 「プロキシー・パスワードの確認」

確認用のプロキシー・パスワード。

6. 「OK」をクリックします。  
「アクションの実行」ダイアログが表示されます。
7. ターゲット・コンピューターを選択します。
8. 「OK」をクリックします。

ESX ダウンロード・プラグインが正常に登録されました。

### ESX ダウンロード・プラグインの登録解除

「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードを使用して、ESX のダウンロード・プラグインを登録解除します。

1. パッチ管理ドメインから、「すべてのパッチの管理」>「ダッシュボード」>「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードをクリックします。
2. 「サーバーとリレー」テーブルから、ダウンロード・プラグインを登録解除するサーバーまたはリレーを選択します。
3. 「プラグイン」テーブルから、「ESX プラグイン」を選択します。
4. 「登録解除 (Unregister)」をクリックします。  
「アクションの実行」ダイアログが表示されます。

5. ターゲット・コンピューターを選択します。
6. 「OK」をクリックします。

ESX ダウンロード・プラグインが正常に登録解除されました。

## ESX ダウンロード・プラグインの構成

「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードを使用して、ESX のダウンロード・プラグインを構成します。

場合によっては、ダウンロード・プラグインの既存の構成を書き留めておくことが推奨されます。ダウンロード・プラグインを構成すると、既存の構成は上書きされます。

1. パッチ管理ドメインから、「すべてのパッチの管理」>「ダッシュボード」>「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードをクリックします。
2. 「サーバーとリレー」テーブルから、ダウンロード・プラグインを構成するサーバーまたはリレーを選択します。
3. 「プラグイン」テーブルから、「ESX プラグイン」を選択します。
4. 「構成」をクリックします。「ESX プラグインの構成 (Configure ESX Plug-in)」ウィザードが表示されます。
5. プロキシー・サーバーを経由してダウンロードする必要がある場合は、プロキシー・パラメーターを入力してください。

### プロキシー URL

プロキシー・サーバーの URL。プロトコルとホスト名が含まれた整形式の URL である必要があります。この URL は通常、プロキシー・サーバーの IP アドレスまたは DNS 名とそのポートを、コロンで区切ったものです。例:`http://192.168.100.10:8080`

### 「プロキシー・ユーザー名」

プロキシー・サーバーで認証が必要な場合のプロキシー・ユーザー名。通常、これはフォーム `domain\username` 内にあります。

### プロキシー・パスワード

プロキシー・サーバーで認証が必要な場合のプロキシー・パスワード。

### 「プロキシー・パスワードの確認」

確認用のプロキシー・パスワード。

6. 「OK」をクリックします。  
「アクションの実行」ダイアログが表示されます。
7. ターゲット・コンピューターを選択します。
8. 「OK」をクリックします。

ESX ダウンロード・プラグインが正常に構成されました。

### ESX ダウンロード・プラグインのアップグレード

「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードを使用して、ESX のダウンロード・プラグインをアップグレードします。

1. パッチ管理ドメインから、「すべてのパッチの管理」>「ダッシュボード」>「ダウンロード・プラグインの管理」ダッシュボードをクリックします。
2. 「サーバーとリレー」テーブルから、ダウンロード・プラグインをアップグレードするサーバーまたはリレーを選択します。
3. 「プラグイン」テーブルから、「ESX プラグイン」を選択します。
4. 「アップグレード」をクリックします。  
「アクションの実行」ダイアログが表示されます。
5. ターゲット・コンピューターを選択します。
6. 「OK」をクリックします。

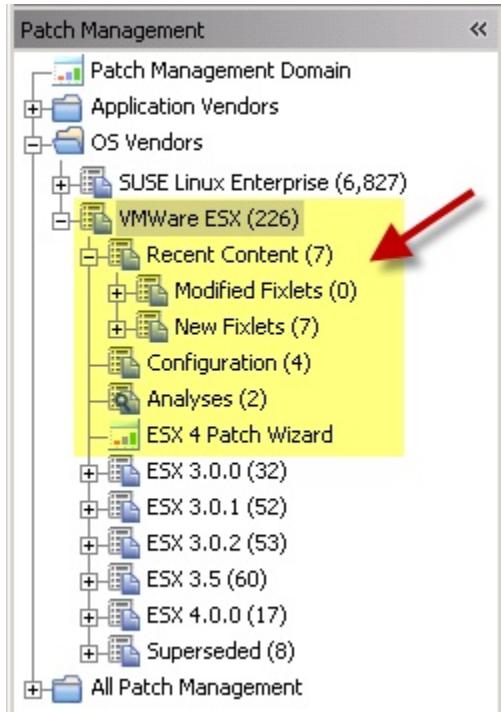
これで、ESX ダウンロード・プラグインの最新バージョンがインストールされました。

## 第3章. Fixlet を使用したパッチ

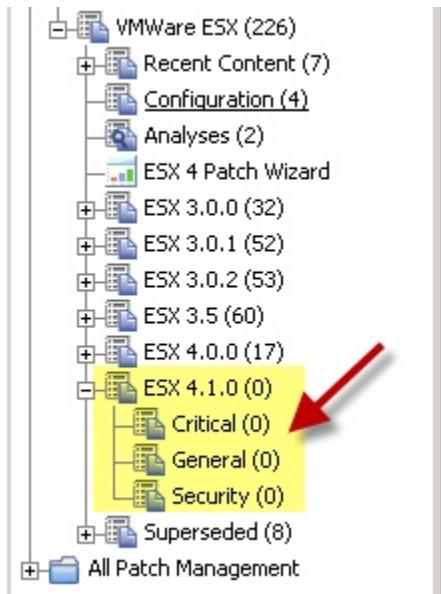
ESX パッチをデプロイメント環境に適用するには、ESX3 向けパッチ・サイトにある Fixlet を使用します。

ESX パッチを適用するには、「パッチ管理」ドメインをクリックし、「OS ベンダー」の下の「VMware ESX」ノードを選択します。

ナビゲーション・ツリーから、新規および変更された Fixlet、構成、分析、および ESX 4 パッチ・ウィザードを含む、ESX の最新コンテンツを表示できます。



「ESX 4.1.0」ノードをクリックして、重大度（「きわめて重要」、「一般」、および「セキュリティー」）に従ってパッチを表示します。

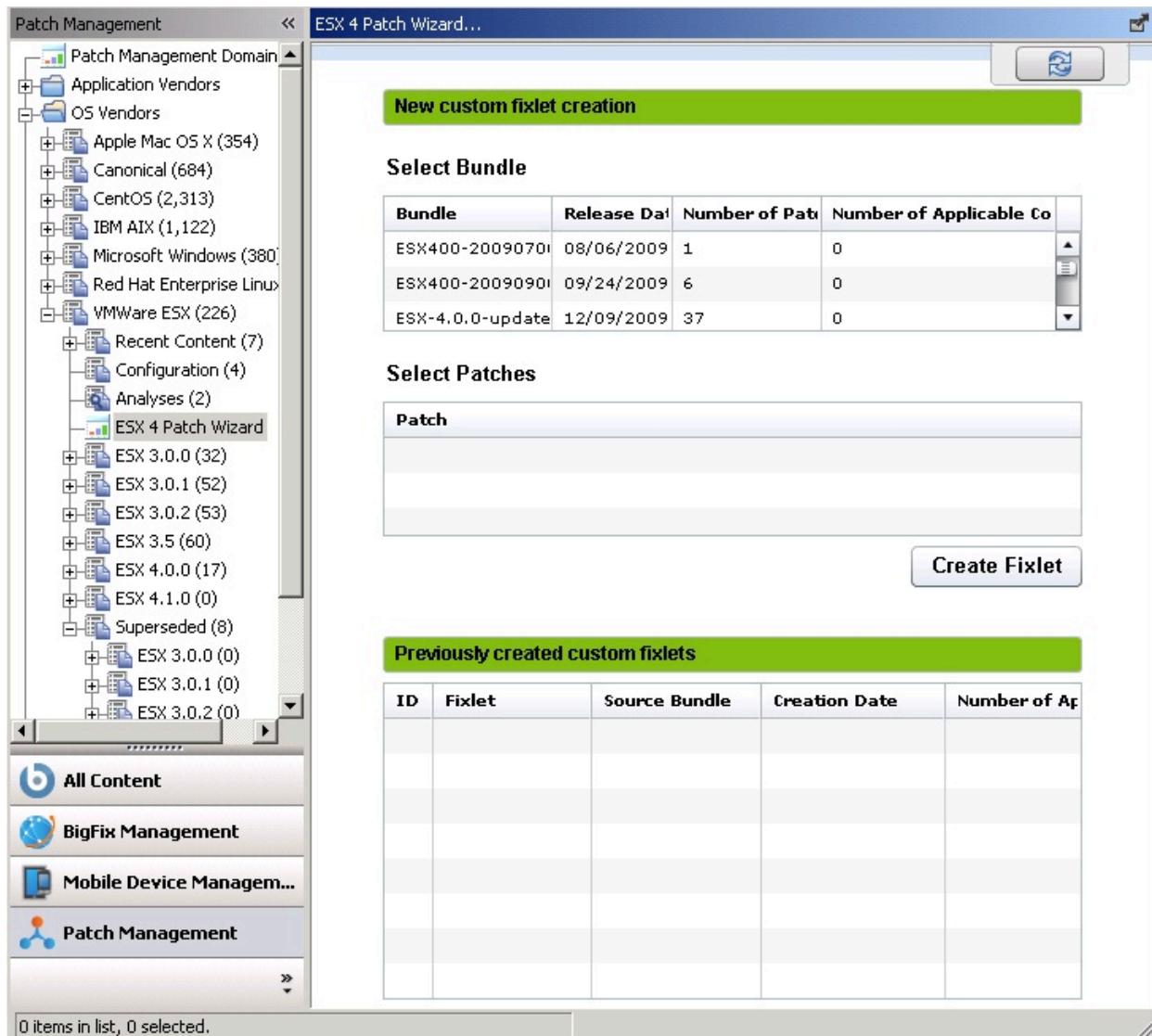


適切なノードを選択すると、作業エリアに Fixlet が表示されます。適用する Fixlet を選択し、「アクションの実行」をクリックして適用プロセスを開始します。非推奨のパッチは、ナビゲーション・ツリーの「置き換え済み」ノードにあります。

## ESX 4 パッチ・ウィザード

ESX パッチ・ウィザードを使用すると、更新バンドルから個別のパッチを適用できます。

バンドルをクリックすると、使用可能な個別のパッチが表示されます。1つ以上のパッチを選択し、「Fixlet の作成」をクリックします。

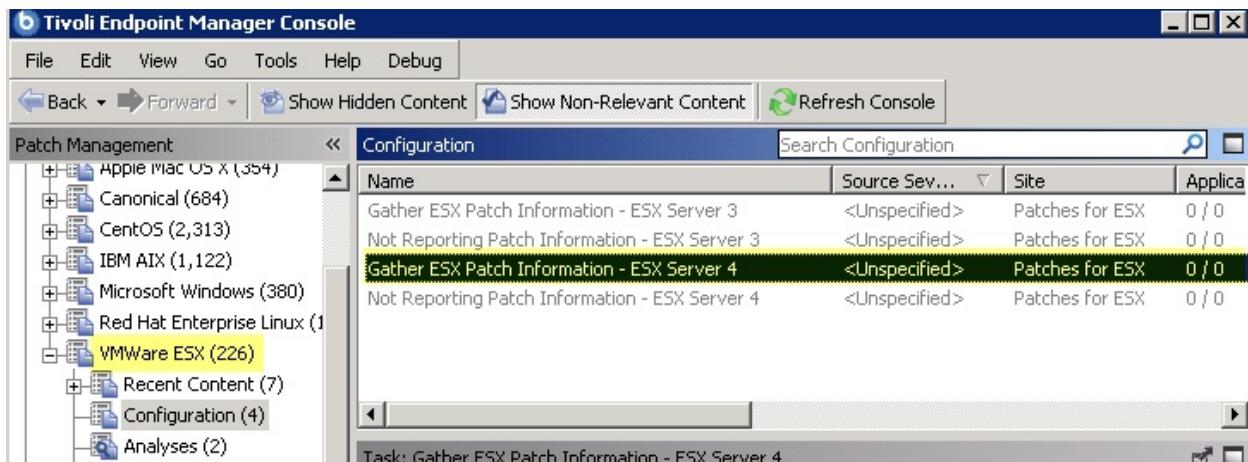


「アクションの実行」ダイアログ・ボックスで、「アクション」ボックスをクリックしてアクションを適用します。

## ESX パッチ情報の収集

ESX パッチ・コンテンツがターゲット・システムを正確に識別できるように、現在 ESX サーバーにインストールされている ESX パッチ・インベントリーを実行します。

このインベントリーは、ナビゲーション・ツリーの「構成」ノードからアクセスできる「ESX パッチ情報の収集」タスクから生成できます。このタスクは、成功した各パッチ・アクションの終了時にも更新されます。



「インストールされている ESX パッチ」分析をアクティブにすることにより、任意の ESX システムのインストール済み ESX パッチの現在のリストを表示できます。ナビゲーション・ツリーから「分析」を選択し、正しい分析を見つけて、メニューを右クリックし「アクティブ化」を選択してアクティブ化します。



## 置き換え

置き換えについて詳しくは、「Windows 以外での置き換え (#####)」を参照してください。

## 付録 A. サポート

この製品について詳しくは、以下のリソースを参照してください。

- [Knowledge Center \(####\)](#)
- [BigFix サポート・センター \(####\)](#)
- [BigFix サポート・ポータル \(####\)](#)
- [BigFix Developer \(####\)](#)
- [BigFix Wiki \(####\)](#)
- [HCL BigFix フォーラム \(####\)](#)

## 付録 B. よくある質問

Patch Management for ESX についてさらに理解するために、以下の質問と回答を確認してください。

### **置き換えられるパッチとは何ですか？**

置き換えられるパッチとは、古いパッケージを含む Fixlet のことです。Fixlet が置き換えられると、新しいバージョンのパッケージが含まれた新規 Fixlet が存在するようになります。新規 Fixlet の ID は、置き換えられた Fixlet の説明で確認できます。

### **適用ログはエンドポイントのどこにありますか？**

ログは /var/log/vmware/esxupdate.log にあります。

### **アクションがダウンロードの失敗として報告されるのはなぜですか？**

一部のパッチが大容量になる可能性があるため、パッチを実行するのに十分なディスク・スペースがデフォルトの BES データ・フォルダーにあることを確認してください。

# 特記事項

本書は米国で提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 HCL の営業担当員にお尋ねください。本書で HCL 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その HCL 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、HCL の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用できます。ただし、HCL 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

HCL は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*HCL 330 Potrero Ave. Sunnyvale, CA 94085 USA Attention: Office of the General Counsel*

2 バイト文字セット (DBCS) 情報についてのライセンスに関するお問い合わせは、お住まいの国の HCL Intellectual Property Department に連絡するか、書面にて下記宛先にお送りください。

*HCL 330 Potrero Ave. Sunnyvale, CA 94085 USA Attention: Office of the General Counsel*

HCL TECHNOLOGIES LTD. 本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは默示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。HCL は予告なしに、隨時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において HCL 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この HCL 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

HCL は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対して何ら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム(本プログラムを含む)との間での情報交換、および(ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*HCL 330 Potrero Ave. Sunnyvale, CA 94085 USA Attention: Office of the General Counsel*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用できますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンスプログラムまたはその他のライセンス資料は、HCL 所定のプログラム契約の契約条項、HCL プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、HCL より提供されます。

本書に含まれるパフォーマンスデータは、特定の動作および環境条件下で得られたものです。実際の結果は、異なる可能性があります。

HCL 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。HCL は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。HCL 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

HCL の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があり、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

**著作権使用許諾:**

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプルプログラムが書かれているオペレーティングプラットフォームのアプリケ

ションプログラミングインターフェースに準拠したアプリケーションプログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、HCL に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布できます。このサンプルプログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。したがって HCL は、これらのサンプルプログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証したりすることはできません。これらのサンプルプログラムは特定物として現存するままの状態で提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。HCL は、お客様の当該サンプルプログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプルプログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。© (お客様の会社名) (西暦年)。このコードの一部は、HCL Ltd. のサンプルプログラムから取られています。

## 商標

HCL Technologies Ltd.、HCL Technologies Ltd. ロゴ、および hcl.com は、世界の多くの国で登録された HCL Technologies Ltd. の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Oracle やその関連会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の製品名およびサービス名等は、それぞれ HCL または各社の商標である場合があります。

# 製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

## 適用度

HCL Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

## 個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製できます。ただし、HCL の明示的な承諾を得ずには、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布(頒布、送信を含む)または表示(上映を含む)したりすることはできません。

## 商用使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示できます。ただし、HCL の明示的な承諾を得ずには、これらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示したりすることはできません。

## 権限

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が HCL の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、HCL はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

HCL は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態で提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。